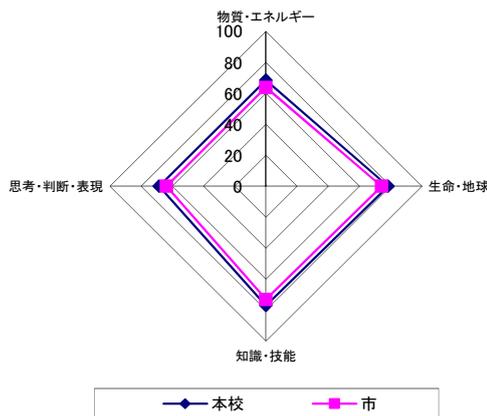


宇都宮市立明保小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	物質・エネルギー	68.4	63.8	61.6
	生命・地球	78.2	74.1	73.3
観点別	知識・技能	77.1	73.0	71.3
	思考・判断・表現	68.5	63.8	62.5

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	<p>平均正答率は68.4%で、昨年同様、市の平均を上回った。</p> <p>○電流のはたらきや物のとけ方についてはよく理解できていた。</p> <p>●水よう液の性質では、うすい塩酸と炭酸水の見分け方について構想し言葉で説明することが不十分であった。</p> <p>●物の燃え方では、集気びんに酸素を集める方法や、物をよく燃やすには下に穴がありすぎ間があって空気が入れ替わることを応用して、木を空き缶の中で効率よく燃やす方法を見出すことに課題が見られた。</p>	<p>・児童は意欲的に実験に取り組んでいるが、結果から考察すること、文章に書き表すことに苦手意識を持っている。スマイルネクストドリルは解答が選択式なので、学習したことを文章でまとめることもやっていきたい。</p> <p>・単元終了後だけでなく定期的に繰り返しタブレットやプリントを活用し、既習事項の定着を図っていきたい。</p>
生命・地球	<p>平均正答率は78.2%で、市の平均を上回った。</p> <p>○流れる水のはたらきや動物のからだのつくりとはたらき、生物とかんきょう、月と太陽については、よく理解できていた。</p> <p>●植物のつくりとはたらきについては、日光が当たると養分ができることは分かっているのに、昼間アルミニウムはくでおおって太陽を当てなければどうなるかと聞き方が変わると答えられないことに課題が見られた。</p>	<p>・月と太陽の学習では、数か月間、新月～満月までの月を観察するよう声を掛けたことで、月の形の変化は理解していた。</p> <p>・学習したことを生かして問題が解けるよう、学習後に応用問題を提示し考える力を養っていきたい。</p>